

令和2年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	鳥取県建設業青年部交流会
事業等の名称	① 幼稚園児との砂場の製作、整備活動体験事業
主な対象者	小学生、中学生（保護者含む）
主な取組区分	体験学習、職業体験
1. 実施時期	5月28日（木） 9:30～16:30
2. 実施場所	キンダガーデン園庭（鳥取県倉吉市内の保育園）
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	園児49名、保護者10名
4. 共催・単独等の開催状況	単独開催（鳥取県建設業魅力発信事業費補助金の活用）
5. 事業等の内容	<p>保育園の古くなった庭園を園児・先生・保護者と一緒に整備する事業をおこなった。加工された丸太材を使って砂場と花壇を作り、庭園全体には園児が安全に遊ぶ事ができるよう芝を張った。同時に建設機械の乗車体験（高所作業車・バックホウ）もおこなった。</p> <p>砂場と花壇は青年部メンバーと園児と一緒に組み立て、園児は電動工具（インパクト）を使い、ボルトを締め付ける体験をした。組み立てた砂場には小型バックホウを使って砂を入れ、園児にはスコップを使って砂場の砂を均してもらった。芝張りに使用した芝は東京五輪の主会場である新国立競技場で使用されたものと同じ芝を使い、保育園、園児にとって記念となる事業となった。</p> <p>建設機械の体験コーナーでは実際に高所作業車及びバックホウに乗る体験をした。</p> <p>当日は協会員9社9名、協会事務局1名、県職員3名、とっとり建設女星ネットワーク 1名、鳥取県建設技術センター 2名 が事業に携わった。</p>
6. 期待される効果（実施結果：効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・新しくなった砂場には園児から「ありがとうのおにわ」と名前をつけてもらった。 ・保護者の方々が作ってくださったカレーを先生・保護者・園児と一緒に頂き、コミュニケーションをとる良い機会となった。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	<p>園児を対象とした事業は鳥取県中部地区では初めての試みであったが、特に保護者の方々には建設産業を理解して頂いたと実感できた。事業費については鳥取県建設業魅力発信事業費補助金を活用したが、今後継続していく為には他の方法の検討が必要である。</p>



令和2年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	鳥取県建設業青年部交流会
事業等の名称	②アスファルト舗装の施工体験実習
主な対象者	高校生、大学生（保護者含む）
主な取組区分	体験学習、職業体験
1. 実施時期	1日目 7月3日（金） 13:30～15:00（出前講座） 2日目 7月6日（月） 9:30～17:30（舗装実習）
2. 実施場所	鳥取県立倉吉農業高等学校
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	倉吉農業高等学校環境建設科 3年生13名 鳥取県人材育成センター土木システム科 4名
4. 共催・単独等の開催状況	単独開催（鳥取県建設業魅力発信事業費補助金の活用）
5. 事業等の内容	鳥取県立倉吉農業高等学校の校内アスファルト舗装未整備区間を実習の場として整備していく事業をおこなっており、今回で7年目となる。 1日目の出前授業ではアスファルト舗装についての座学、施工箇所の測量から丁張の設置をおこなった。 2日目舗装実習では、人力及び機械で路盤から表層の施工をおこなった。丁張をもとに掘削、路盤の高さを計測・マーキングをしながら仕上げていくという実際の施工管理と同様の方法で生徒も作業に携わった。人力施工は指導員のもとでレーキやコンパクターを使い、碎石の敷均し～転圧、アスファルトの敷均し～転圧をした。機械施工の箇所は専門業者が施工しているところを見ながら機械施工についての説明をした。 当日は協会員7社7名、県職員4名、鳥取県建設技術センター1名 舗装作業員9人が事業に携わった。
6. 期待される効果（実施結果：効果）	生徒の大半が就職希望であり、将来どのような環境で仕事をするのか学べる機会となる。学校のOB4名（舗装作業員2名、現場監督2名）の参加もあり、先輩の活躍を見せる事ができた。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	座学の時間をもう少し頂ければ、より理解が深まると思われる。



令和2年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	鳥取県建設業青年部交流会
事業等の名称	③高校生との測量実習
主な対象者	高校生、大学生（保護者含む）
主な取組区分	体験学習、職業体験
<p>1. 実施時期 10月12日（月）10：00～14：30</p> <p>2. 実施場所 東伯郡琴浦町野井倉 一向平野営場</p> <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数） 倉吉農業高等学校環境建設科 2年生16名</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況 とっとり建設☆女星ネットワークと共催</p> <p>5. 事業等の内容 1組2～3名の生徒と1名の指導員で水準測量の実習（片道約300mの往復）を実施した。各チームが測量の精度と時間で順位を競い合い、最後に表彰式をおこなった。測量競技終了後は復習として指導員のもと、技術研修をおこなった。 この事業は毎年継続して実施しており、生徒の知識や技量を知る事ができるとともにコミュニケーションの場となっている。 昨年度より「とっとり建設☆女星ネットワーク」の方々にダムカレーを準備して頂き、関係者、生徒全員でにぎやかに会話しながら昼食を摂っている。</p> <p>6. 期待される効果（実施結果：効果） ・土木技術者と共に測量実習をすることで測量技術のレベルアップを図る。 ・社会人と接することにより就職について考えるきっかけとなる。 ・測量を通して建設業への理解が深まり、入職率が上がることを期待する。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 ・新しい測量技術を使った実習も必要となってくる為、検討が必要である。</p>	



令和2年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称	鳥取県建設業青年部交流会
事業等の名称	④建設機械・資材等を見てさわって体験してみよう
主な対象者	小学生、中学生（保護者含む）
主な取組区分	体験学習、職業体験
1. 実施時期	令和2年11月13日（金）9：00～12：30
2. 実施場所	大山町立 大山保育所
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	・参加人数 （児童 45名）
4. 共催・単独等の開催状況	単独開催（鳥取県建設業魅力発信事業費補助金の活用）
5. 事業等の内容	<p>・高所作業車、ミニBHの使用目的の説明、有資格者による作業実演</p> <p>（説明後、実際に動いているところを見学してもらう）</p> <p>・高所作業車の乗車体験</p> <p>・ミニBHのデモンストレーションと機械に搭乗して記念撮影 （コロナウイルス防止対策の為、運転手との密な接触を避ける為に内容を変更しました。）</p>
6. 期待される効果（実施結果：効果）	<p>・建設機械に乗車し、楽しんでもらう事によって園児の体験が記憶に残る。</p> <p>・保育所の先生にも喜ばれ、建設産業を少しではあるが理解してもらえた。</p>
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	建設機械についての絵本やミニカーなどのおもちゃも一緒に贈呈すれば、より効果が期待されるのではないかとと思われる。

